

事業名	高等教育機関活用事業
-----	------------

総事業費	266 千円
------	-------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	計画的で効率的な行政運営の推進
	基本事業名	広域的な取り組みの推進

② 実施 (Do)

事業の意図		設置へ向けた課題を解決する ①流出を防ぐ。(若年層の人口を確保する) ②種子島での教育の機会を与える。
事業の実績 と 成果	取組内容	地元へ高校を存続させる取り組みとして種子高魅力化支援連携協議会を設置し、アパートや下宿先の助成、バイクやバスの通学助成、検定料助成など次年度事業に向けた検討を行った。
	成 果	令和3年度から、アパートや下宿先の助成、バイクやバスの通学助成、検定料助成を行うこととなった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	大学連携はこれまで同様の取組みを継続していくが、種子高魅力化事業の取組みにも必要不可欠であるため、経済観光課事業とも密に連携していく必要がある。また、R2年度に種子高魅力化支援連携協議会を設置したところであるが、高校魅力化事業はオール西之表市で取り組んでいく必要があり、関係機関及び団体等と深く連携していくことが重要と考える。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	島外高校への進学者数が増加している状況に対応するため、関係機関や団体・市民等で構成する種子島高等学校魅力化支援連携協議会を設立し、若者定着化にも資するよう種子島高校の支援についての検討が迅速に行えた。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	地元へ高校を存続させるため種子高魅力化支援連携協議会を中心にオール西之表市で様々な取組みを検討していく。本年度から具体的に事業に取り組んでいくが、新たな取り組みも検討していく必要がある。
-----------	---

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明